

# 仕事人秘録

東日本大震災の復興に向けた国の金融支援のあり方に対して怒りに震えたことがある。

富士市産業支援センター（f-u-b-i-z、エフビズ）のノウハウを震災復興に生かせないかと考え、2012年冬に仙台で出張相談会を開きました。その最中に地元の新聞記者が「被災して富士市で生活している人がいます。相談ののってくれませんか」と電話してきました。「いつでもお待ちしていますと伝えて下さい」と返事をした数日後、ご夫婦がエフビズにいらっしやいました。

堀川文夫さんと貴子さんは福島県浪江町で学習塾を営んでいたのですが、原発事故で避難生活を余儀なく

## 行列のできる経営相談所 ㊸

富士市産業支援センター長  
小出 宗昭氏



堀川さん夫婦は学習塾の立ち上げについてエフビズを訪れた

### 「復興支援」かけ声の実態

営の実績があることには目もくれていません。こうして八方ふさがりになっていく問題ではないと考え、中た時にエフビズを訪ねて来られたのでした。

落胆しているご夫婦を早く安心させたかったので、エフビズの取り組みをいち早く認めてくれた地元の富士宮信用金庫の幹部に電話で事情説明です。経営判断になるので時間がかかると思ったのですが、たった1

ちほ私の怒りを真摯に受け止めてくれ、政府系金融機関へ柔軟に対応するように指示した

され、縁もゆかりもない富士市で生活していました。浪江町に帰るメドが立たないので、富士市で改めて学習塾を始めようとしたところ、なかなか思うように話が進まないようでした。

中古住宅を購入して塾向けに改装しようと、生活再建ハンドブックなどを参考に復興支援に積極的な政府系を含む複数の金融機関に

理由だったそうです。これには本当に怒りがこみ上げてきました。浪江町

週間融資がおりました。本当に助かりました。

これをきっかけに政府系金融機関の人たちとも情報交換の機会が増え、今ではエフビズの業務にも大変役に立っています。

このご夫婦だけの問題ではないと思えました。調べ